

四日市看護医療大学 災害支援の会

活動報告！

－活動の目的－

今の大きな目標としては、東日本大震災において、被害を受けた方々と交流会を行うことにより、心への支援を行うことを目的としています。また、東日本大震災を通し、災害について勉強することやボランティアでの経験を活かし、今後の災害が起こったときに、看護学生、看護師として、今後の震災時に何ができるかを考えたいと思っています。

私たちが訪れた街の様子

2011年4月



私たちが訪れた時の現地の様子
道路もまだ完全に修理されていない場所があった。



橋が流された跡

ー活動を始めるきっかけー

近接する四日市大学が運営している「四日市東日本大震災支援の会」の宮城県へのボランティア派遣に参加させていただく機会がありました。宮城県での活動を通し、看護学生として、何かでき、何をすべきなのか、今後の災害時に活かせることがないのかという思いを持つようになりました。このようなことがきっかけとなり、今年の秋、四日市看護医療大学においても災害への支援を目的として活動をしていこうという思いから、「災害支援の会」を発足しました。



仮設住宅でのミーティングの様子
活動をする前に打ち合わせをして
精神統一！

ーグループメンバーの構成等ー

四日市看護医療大学の1、2年生を中心に30名ほどで構成しています。



活動するメンバー
みんな元気でわきあいあい！
若い力を発揮します！

ー現在の取り組み内容ー

- ・宮城県東松島市でのボランティア活動
- ・災害時に対する勉強会
(東日本大震災に関するビデオの鑑賞・資料を読む等)

今後は、イベント等で、寄付金を募ると共に、東日本大震災の現状を伝える活動をしていきたいと考えています。



報告会なども開き、現地の様子を
知ってもらうことで震災への
意識を高めてもらう

ー現在の課題と今後（将来）の方向性、夢ー

学業とのバランスが難しく、活動日数が少ないことが今問題となっています。しかし、今後も現地のボランティアは必要で、継続していくことが大切だということを認識しています。そのため、定期的に四日市大学と協力し被災地へのボランティアを続けていきたいと考えています。ボランティアを続けることで被災地の方々の笑顔が少しでも増えるよう活動していきたいと思います。また、このようなボランティアを、後の災害時へと活かせるよう何をすべきであるかを学んでいきたいと思います。

課題として、東日本大震災への支援のみの活動であるため、活動の幅を広げていきたいと考えています。



足浴の様子
お湯の中でマッサージを
することで血行をよくします
看護学生が行います！



血圧測定の様子
お年寄りを中心に健康チェック
を行います！